

**製品名: リン酸化 Sp1 (Thr739) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00833**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 81 kDa; Observed MW: 81 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SP1
別名	SP1; TSFP1; Transcription factor Sp1
遺伝子 ID	6667
SwissProt ID	P08047
免疫原	抗血清は、Thr739 のリン酸化部位周辺のヒト SP1 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 706-755

**背景**

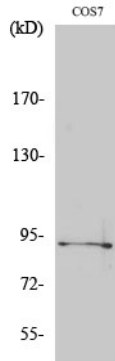
SP1 は、Sp1 C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する転写因子です。MAPK によってリン酸化され活性化されま

す。PTEN による脱リン酸化は DNA 結合を阻害します。核内では p38 に結合します。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



Phospho-Sp1 (Thr739) 抗体を使用した COS7 溶解物中の Phospho-Sp1 (Thr739) のウェスタンブロット分析。